



Crisisに負けない FALCon 拠点校としての取組



FALCon:ふじのくにアドバンスト・ラーニング・コンソーシアム

令和4年2月21日 WWL成果報告会

静岡県立三島北高等学校



ふじのくにアドバンスト・ラーニング・コンソーシアムの構築

課題意識：
 ①静岡県の人口社会減
 ←高大接続のミスマッチ？
 ②SGHの取組：
 研究の質&波及効果

FALCon評価委員会
 (運営指導委員会)

県教育委員会 (管理機関)

目的： 静岡県の高校生が個々の興味・関心・特性に応じてより高度な学習プログラムに参加

事業の調査・分析・評価

運営組織委員会

事業の計画・運営・業務管理

↓
**イノベティブな
 グローバル人材の育成**

ふじのくに地域・大学
 コンソーシアム
 (既存法人)

**ふじのくにアドバンスト・
 ラーニング・コンソーシアム
 (FALCon)**

ふじのくにグローバル・セミナー

県大学課

OFFICE
 県地域外交課
 在外事務所

アジアの高等教育体感コース

語学研修
 STEM教育

教育課程開発

県内外企業

水問題・SDGs
 フィールドワーク

Society5.0 &
 静岡県地域外交体感コース

入学者選抜における
 課題研究の評価

三島北高 (拠点校)

静岡高, 沼津東高, 静岡市立高 (県内連携校)

課題研究に基づいた
 社会起業の取組

**ふじのくにアドバンスト・
 プレイスメント・システム構築**

グローバルな社会課題研究
 「Multi-Dimensional Approach to SDGs」

ふじのくにAPS運用
 (2021年～)

課題研究指導委員会

高校生国際会議の開催
 (2021年)

高校生が大学の設置する科目を受講し
 評価を受けるシステム

課題研究指導

SDGsを複数の視点からアプローチする
 課題研究活動に関する
 日本国内外の高校生による国際会議

仙台二華中・高, 長崎東高
 (県外連携校)



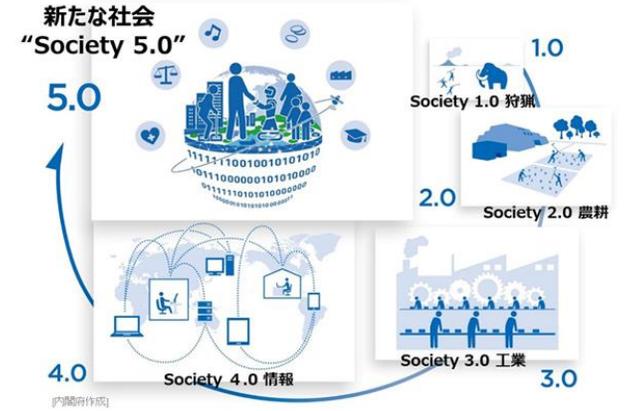


FALCon 3年間の取組

令和3年度
FALCon高校生国際会議

令和2年度
SDGs × STEM教育の研究深化

令和元年度
SGHからの移行とネットワークづくり



Multi-Dimensional Approach to SDGs

Crisisに負けない持続可能な社会づくりを目指して
～SDGsの視点からの多面的なアプローチ～



令和元年度 SGHからの移行とネットワークづくり

- 「安全な水の確保」
→ 「Crisisに負けない持続可能な社会づくりを目指して～SDGsの視点からの多面的なアプローチ」
- SGH学校設定科目 → 普通科で深める課題探究カリキュラムの開発 + WWL学校設定科目

LWI (1年生全員)
GWI (2年生全員)

「総合的な探究の時間」
2年間同じチーム
(2年生は移行中)

「海外研修」(1年生希望者)
「STEM for SDGs」(2年生希望者)

- 連携校と協働スタート (県外とビデオレター交流、県内連携校と「高校生フォーラム」合同視察)
- 海外とのネットワークの拡大
2年後の国際会議 = 2年間研究を継続し、(海外からは) 来日に意欲的であることが必要
「これまでのおつきあいの実績」 + 「新たな国や学校の開拓」 学年区切りや試験などのタイミング考慮



ベトナム
海外研修
学校交流



シンガポール
修学旅行
毎年11月に来校



台湾



オーストラリア
大使館から



アメリカ
STEM



8月に
視察実施

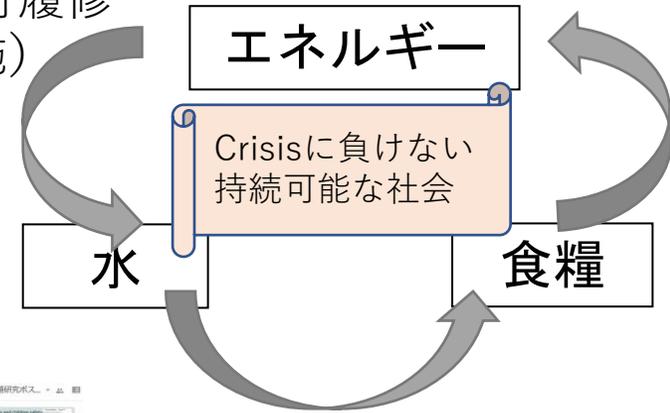
- 大学にとっても高校にとっても価値あるAPの在り方への模索 + アカデミックスキルの出前講義
(管理機関主導、拠点校での施行に向けた準備)

課題探究指導の主体は高校の教員としつつも…



令和2年度 事業そのものがコロナのCrisisとの闘いに入 SDGs × STEM教育の研究深化

- 「総合的な探究の時間」と文理選択を3年次とする教育課程の実践
- 静岡大学1年生が履修する「数理データサイエンス入門」を教科「情報」で試行履修
- 学校設定科目「STEM for SDGs」開設準備（12月より試行的に一部生徒に実施）
- STEM for SDGS教員研修の実施
9月開催予定 → 2月実施（アメリカからはZoomでライブ講義）
県内の中学・高校の教員対象、教科横断型指導の工夫として紹介
- 高校生国際会議プレ大会として2つのイベント（2月）
（国際会議が半年後にできるのか？という不安の中で準備→対面実施断念）



静岡県高校生グローバル課題研究ポスターセッション大会

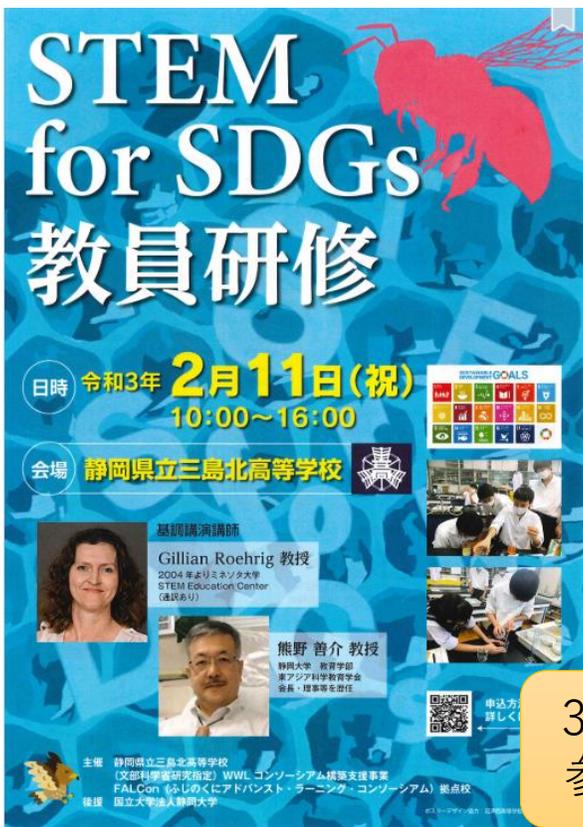
YouTube動画＋ポスターデータでオンデマンド型「疑似」セッション



FALConディスカッションフォーラム

Zoomでオンライン開催





STEM
for SDGs
教員研修

日時 令和3年 2月11日(祝)
10:00~16:00

会場 静岡県立三島北高等学校

基調講演講師
Gillian Roehrig 教授
2004年よりミネソタ大学
STEM Education Center
(講演あり)

熊野 善介 教授
静岡大学 教育学部
東アジア科学教育学会
会長・理事等を兼任

申込方
詳しく

主催 静岡県立三島北高等学校
(文部科学省研究指定) WWL コンソーシアム 積極支援事業
FALCon (はじめてのアドバンス・ラーニング・コンソーシアム) 拠点校
後援 国立大学法人静岡大学

36名
参加

- 基調講演 「日本における STEM 教育概論」
(静岡大学教育学部 創造科学技術大学院 熊野 善介教授)
- 講義 「Policy, Practice and Research related to Integrated STEM Educaiton」
(ミネソタ大学STEM教育センター Gillian Roehrig 教授)
- 分科会 (ミネソタ州オク郡地区STEMコーディネーター Thomas Meagher博士、静岡高校 鳥光高広教諭)
- 三島北高校理科教員によるSTEM模擬授業



参加者からの感想

- 知識を持つことよりも、その知識をどう活用するか、自分の能力をどう世の中をよくしていくために使おうとしていけるか、STEMは、そんな人づくり（世の中づくり）の手立てのように感じました。
- 生徒が必死になれる題材を見つけることが一番重要で、最も難しいことだと思う。
- 「自分の学問を大切にする」がとても心に響きました。STEM教育が一般化すれば「これ、社会で何の役に立つの？」という生徒の台詞もなくなると思う。
- STEM教育について考える機会となりました。現在の日本の教育と合わせていくために、教員が当事者意識をもって取り組んでいく必要があると感じました。自分は国語教員ですが、STEM的な手法は文系科目にも応用できると思いました。



令和3年度 コロナCrisisとの折り合い

FALCon高校生国際会議@Mishima

- 「総合的な探究の時間」2年次のカリキュラム開発 = 社会課題を解決するビジネスプラン化
- FALCon高校生国際会議@Mishima 8月開催→9月にハイブリッド型で開催
- 学校設定科目海外現地研修の代替研修の充実（「海外研修」のベトナム、「STEM for SDGs」のミネソタ）

ベトナムとオンライン（半日×2回）



東京研修（JICA地球ひろば、明電舎）（1日）



筑波研修（1泊2日）





FALCon高校生国際会議@Mishima

WWLコンソーシアム構築支援事業

2021 FALCon

高校生国際会議

@Mishima

2021 Fujinokuni Advanced Learning Consortium International High School Student Conference@Mishima

Crisisに負けない持続可能な社会づくりを目指して
~SDGsの視点からの多面的なアプローチ~

A Multi-Dimensional Approach to SDGs:
Crisis prevention and management

令和3年9月17日(金)~20日(月)

海外参加国 オンラインで参加 国内参加校 (事業連携校)

台湾、オーストラリア、アメリカ、シンガポール (県外) 長崎東高校、仙台二華高校 (県内) 静岡高校、沼津東高校、静岡市立高校

教育関係者のみ公開
・基調講演・研究プレゼン・ディスカッション・大学教員ミニ講義
9月17日午後 (ゆうゆうホール) 9月18日午前 9月18日午前 9月18日午後

一般公開
・県内高校の課題探究ポスターセッション 9月18日午前
・全国 WWL 校研究ポスター掲示 9月18日午前
・中学生 SDGs 英語新聞展示 9月18日午前
・会議の成果発表 9月19日午後 (ゆうゆうホール)

管理機関：静岡県教育委員会
拠点校：静岡県立三島北高等学校
☎ 055-986-0107 担当菊地 (教頭)

見学・視察には事前登録が必要です。詳しくは国際会議特設サイトをご覧ください。

<https://falcon2021.jp/> 申込詳細はこちら

ポスター原画デザイン：沼津西高校 田代和花

| | | |
|-----------|---|--|
| 海外 15人 | ヒースフィールド高校 (オーストラリア) Heathfield High School (Australia) | |
| | ジュロン ウェスト高校 (シンガポール) Jurong West Secondary School (Singapore) | |
| | マコウ (馬公) 高校 (台湾) National Magong High School (Taiwan) | |
| | オワトナ高校 (アメリカ) Owatonna Senior High School (USA) | |
| | レイネライーストカレッジ高校 (オーストラリア) Reynella East College (Australia) | |
| 国内 35人 | 連携校 | 静岡県立沼津東高等学校 Shizuoka Prefectural Numazu Higashi Senior High School |
| | | 静岡県立静岡高等学校 Shizuoka Prefectural Shizuoka Senior High School |
| | | 静岡市立高等学校 Shizuoka Municipal High School |
| | | 長崎県立長崎東中学校・高等学校 Nagasaki Prefectural Nagasaki Higashi Junior and Senior High School |
| | 拠点校 | 宮城県仙台二華中学校・高等学校 Miyagi Prefectural Sendai Nika Junior and Senior High School |
| | | 静岡県立三島北高等学校 Shizuoka Prefectural Mishima Kita Senior High School |

メインプログラムへの参加者
5か国 11校 15チーム 50名

会議前の研究内容 = 会議のテーマを「エリア」に細分化

Crisisに負けない持続可能な社会づくりを目指して ~SDGsの視点からの多面的なアプローチ~

| | Crisisの最中やその後に… (5つのエリア) | | | | |
|------------|---------------------------------------|--------------------|---|-----------------------|---------------------------|
| 懸念されるシナリオ | 悪化 A | 不足・欠乏 B | 阻害 C | 誤った運用や管理 D | 優先順位の低下 E |
| 主に関連するSDGs | [1] 貧困 [2] 飢餓 連携校 海外校 三島北 | [6] 水 [7] エネルギー | [13] 気候変動対策 [14] 海洋生物保護 [15] 陸上生物保護 | [8] 経済 [9] 産業と科学技術 | [5] ジェンダー [10] 国・個人の平等 |

2年間かけて研究

多面的なアプローチ

ビジネス / 教育 / STEM



FALCon高校生国際会議@Mishima

日程は4日間→3日間へ

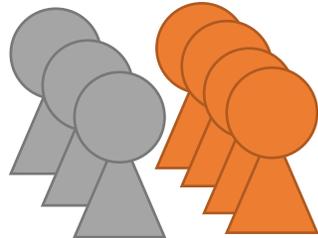
| | | |
|---------|---|--|
| | 三島会場（三島北高校、三島ゆうゆうホール） （県内連携校、拠点校） | リモート参加各校会場 （海外校、県外連携校） |
| 17 金 | @ゆうゆうホール 14:30～開会式（教育長・三島北校長挨拶、各校紹介と代表挨拶、開会宣言） 15:45～基調英語講演「Crisis に負けない持続可能な社会づくりを目指して～SDGs の視点からの多面的なアプローチ」（常葉大学常葉大学外国語学部 Peter Hourdequin 准教授） | （時差が大きいアメリカ以外） 開会式からライブ参加 学校紹介 基調講演ライブ視聴（アメリカは録画を時間差で視聴） |
| 18 土 | @三島北高校 8:30 集合 8:45-10:00 エリアごと研究プレゼン ① 10:00-10:20 専門家フィードバック ② 10:30-12:30 混成分科会ディスカッション ③ 昼食 13:30-14:30 エリア専門家ミニ講義と質疑 ④ | 学校単位でプレゼン 個人単位で混成分科会に参加 ミニ講義視聴 |
| 19 日 | @三島北高校【オフライン】 8:30-11:30 エリアごと「Cross-border Proposal Movie（3分）」作成、動画データ提出 ⑤ @ゆうゆうホール 13:00-13:45 ムービー上映会 13:45-14:15 閉会式（講評、参加証明書授与、記念撮影） | 学校単位で「Cross-border Proposal Movie（3分）」作成、動画データ提出 上映会視聴 閉会式参加 （アメリカは動画のみ提出、上映会は時間差で視聴） |

参集は県内のみ
並行プログラムはWeb上で一定期間の公開に切り替え

| | 適用前 | 摘要後 |
|---------------------|--|---|
| 参集 | 国内連携校と拠点校 静岡、沼津東、静岡市立、 長崎東、仙台二華、三島北 | 県内連携校と拠点校のみ 静岡、沼津東、静岡市立、三島北 |
| オンライン | 海外校 アメリカ、台湾、シンガポール、 オーストラリア2校 | 海外校と県外連携校 アメリカ、台湾、シンガポール、 オーストラリア2校、 長崎東、仙台二華 |
| 並行プログラム | 9月18日（土）三島北高校会場で、 全国 WWL 校、県内高校生、県内 連携校、拠点校生徒のポスター発 表及び中学生 SDGs 英語新聞の 掲示 | 国際会議特設サイト上で発表ポス ターや動画等を2月末まで公開 |
| 三島市内ウォー キングツアー | メインプログラム参加者が、三島市 ふるさとボランティアガイドによる案 内で、楽寿園、白滝公園、三嶋大 社等を巡る | 中止 |
| 静岡県東部バス スタディーツアー | メインプログラム参加者が、狩野川 放水路、狩野川資料館、世界遺産 韮山反射炉、沼津港びゅうお 等 を巡る | 中止 |

| | プログラム | 参加者 | |
|---|---|--|---|
| ① | 英語プレゼン 8:45-9:55 | 全参加校学校単位（発表15分、質疑5分） エリアA～Eの教室会場で発表＋他の2校の発表を視聴 専門家からFeedbackを受ける。 | <p>× 5 エリア</p> <p>三島北 大 大 専 連携校 海外校</p> |
| ② | 専門家Feedback 10:00-10:20 | | |
| ③ | 混成分科会 (10グループ) によるDiscussion 10:30-12:30 | 海外校＋連携校＋拠点校の5人の混成分科会 (異なるエリアについて研究したメンバーで構成) 大学生アシスタントがサポートし議論（ワークシートあり） ・アイスブレイク ・ゴールの説明 ・30分ずつのセッション3つ | <p>× 10 グループ</p> <p>大</p> |
| ④ | 専門家ミニ講義 13:30-14:00 講義 14:00-14:30 質問 | 10グループ→エリアごととまり混成5グループ そのエリアの専門家によるミニ講義 ③での議論を踏まえ、専門家に質問 | <p>× 5 エリア</p> <p>大 大 専</p> |

⑤ Cross-border
Proposal
Movie作成
= 成果物のうちのひとつ



× 5 校 × 2 校

海外・県外では
学校単位で作成

日本では
拠点校＋連携校混成



× 5 エリア



できるだけ色々な人と交流を最大限することができたこと、そしてコロナというcrisisの中このように開催していただいたことを本当に感謝しています。
(参加生徒のフィードバックより)



国際会議
ハイライト
広報用ムービー



参加者による
成果物ムービー





コンテスト・発表会等での主な実績

令和元年度

- ・全国高校生フォーラム 生徒投票賞
- ・高校生が競うエネルギー・ピッチ！ 技能賞
- ・Green Blue Education Forum U-18の部 優秀賞
- ・常葉大学高校生ビジネスプランコンテスト 調査研究の部 グランプリ
- ・高校生舞プロジェクト 関東サミット 2チーム進出
- ・内閣府主催SDGsまちづくりアイデアコンテスト ファイナリストに選出

令和2年度

- ・全国高校生フォーラム 生徒投票賞
- ・高校生が競うエネルギー・ピッチ！ 静岡新聞社賞
- ・全国ユース環境ネットワーク 関東地方大会出場



令和3年度

- ・高校生が競うエネルギー・ピッチ！ 最優秀賞
- ・WWL・SGH×探究甲子園日本語プレゼンテーションの部 一次審査通過（6年連続出場）



二酸化炭素排出量の削減方法について発表する三島北高の生徒＝静岡市駿河区の県立大

水素使いCO₂削減提案

高校生がエネルギー「静岡放英共徳」の本選を提出して社会的課題が21日、静岡市駿河区の解決策を提案するの県立大で開かれた。「高校生が競うエネルギー」県内の5校が出場し、「ピッチ！」(電気新)水素を用いた「酸化炭素削減」静岡新聞社・素排出量の削減方法を

「水素使いCO₂削減提案」が21日、静岡市駿河区の解決策を提案するの県立大で開かれた。高校生が競うエネルギー」県内の5校が出場し、「ピッチ！」(電気新)水素を用いた「酸化炭素削減」静岡新聞社・素排出量の削減方法を

「水素使いCO₂削減提案」が21日、静岡市駿河区の解決策を提案するの県立大で開かれた。高校生が競うエネルギー」県内の5校が出場し、「ピッチ！」(電気新)水素を用いた「酸化炭素削減」静岡新聞社・素排出量の削減方法を

令和3年11月22日
静岡新聞 朝刊



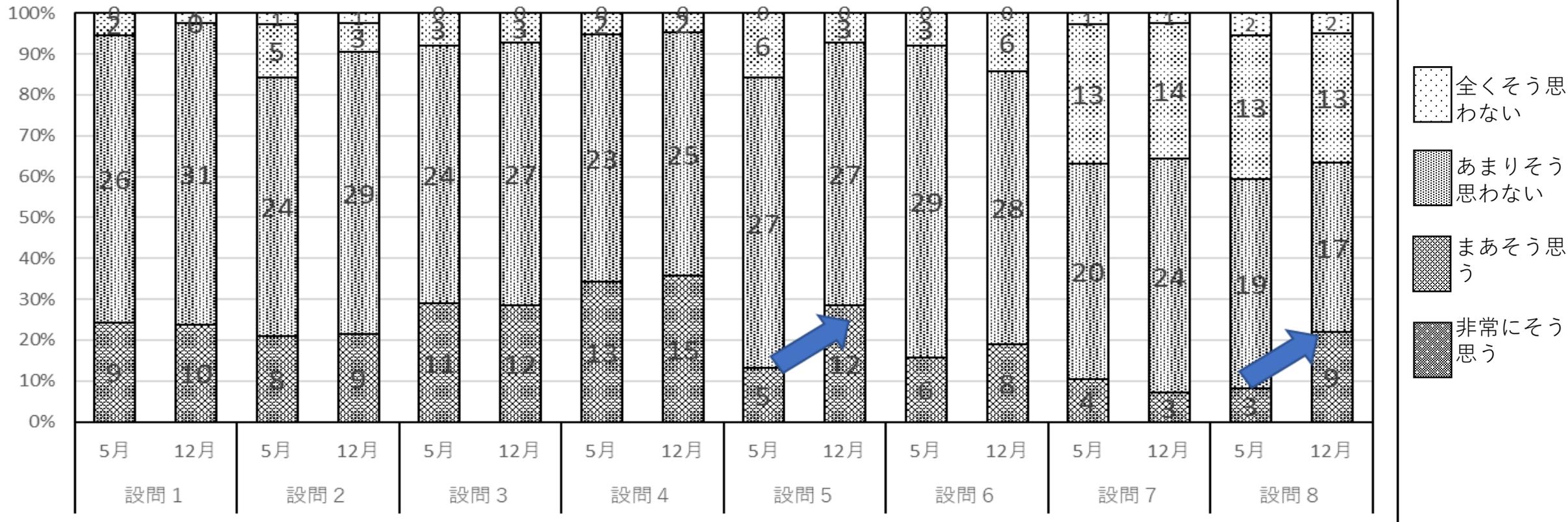
WWL事業を行ったことによる学校全体への波及効果

(Q5)総合的な探究の時間が課題解決を生み出す創造的思考力を高めている

(Q8)自分自身の教科指導を総合的な探究の時間の指導と結び付けることができる

教員

探究活動教員アンケート 5月-12月比較



グローバル課題への興味関心

地域社会への興味関心

コミュニケーション能力

プレゼンテーション能力

創造的思考力

主体的な学習への意欲

主体的な進路に対する意識

教科指導との結びつき



その他WWL事業に関する拠点校における課題

大学との連携

- 既存のふじのくに地域・大学コンソーシアムとの連携。
- ふじのくにAPSの運用は、高校側は「お願いする」立場。

➡ 主導的立場は？ Win-Winなのか？

指定期間とコロナ

- 3年間は短かった（実質3分の2はコロナ）。しかし国際会議の次年度への延期は設計上無理と判断し指定期間の延長は断念。
- オンラインはあくまで代替。直接「におい」をかぐフィールドワークや、空気を共有する対面交流に代わるものではない。

その他

- 人事異動の功罪。
- 働き方改革との両立。



拠点校における、来年度以降の予定 (自走の方向性、自走に向けて必要な準備等)

| H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|----|---------------|----|
| 国 | | SGH | | | WWL | | | | |
| | | | | 県 | | 英語コアスクール | | オンリーワン・ハイスクール | |

「英語でやりとりする力」を伸長させる指導法・評価法、体制づくり

国の高校普通科改革を見据え、県立高校の魅力化を図るために静岡県教育委員会が進める「新時代を拓く高校教育推進事業」
海外の教育機関や企業と連携したカリキュラム研究

- 探究活動に関する外部発表会等への参加
- 探究活動に関するグローバル企業との連携（授業支援）
- 県内高校生の探究活動の発表会の企画・運営（主催の継続については要検討）など

ご清聴
ありがとうございました。



WWLコンソーシアム
静岡県立三島北高等学校 WWL特設サイト

三島北高校公式 Web Site
日本語 English

Home 構想計画書 経過報告 イベント告知 研究成果 SGHアーカイブ



WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) 経過報告 [WWL経過報告一覧](#)

| | | |
|---|--|---|
|  <p>ベトナムオンライン研修 2021.12.22</p> |  <p>12/19 13:00-17:30 オンライン開催 2021年度 全国高校生フォーラム 2021.12.22</p> |  <p>異文化理解講座「ベトナム編」 2021.12.20</p> |
|  <p>水素使いCO</p> |  |  |



WWL特設サイト